

## 意見交換会開催内容（④箱田小学校）

**日時：**平成24年6月1日（金）午後7時～8時30分

**場所：**箱田小学校 体育館

**出席者：**29名

**意見：**これまでの意見交換会に参加した人数を教えてください。

**回答：**笠間小学校で12人、東小学校で27人、佐城小学校で31人です。

**意見：**学校の適正配置に関する説明を聞いても形だけとしか受け取れない。箱田小学校は児童数では適正ではないかもしれないが、地域に学校がなくなってしまうということを非常に危惧している。できれば箱田小学校を残してほしい。

**回答：**検討委員会や学区審議会でも、小さい学校ではどうしてだめなのか、学校を存続してほしいという意見を多くいただきました。しかし、最終的にはクラス替えができないことによって、一度クラスからはじかれてしまった子がなかなか学校に戻ってくることができないということが一番に心配し、こういう答申になったという経緯があります。この意見交換会は学区審議会の答申に基づいて開催していますが、統合によって地域が解体されるということではありませんし、決して地域の皆さんに対する配慮がないわけではありません。

**意見：**スクールバスで通学することによる体力の低下を心配している。

**回答：**東小学校や佐城小学校、岩間第二小学校では今もバスで通学しています。学校教育では体力づくりが基本であり、個々に応じた活動をしていますので、バスで通学している子どもたちと徒歩で通学している子どもたちの体力の差はないと考えています。

**意見：**バスで通学することによる保護者負担はどうなるのか。

**回答：**現在、通学距離4km以上は全額補助をしています。3kmから4km未満の場合、小学1年生は全額を補助、2年生は2分の1を補助、3年生は3分の1を補助しています。また、自転車通学の場合は2万円以内の購入補助をしています。今後はスクールバスに乗る場所などについても皆さんと話し合っていくこととなります。

**意見：**箱田小学校では6年生まで放課後児童クラブで見てもらえるが、笠間小学校では3年生までしか見てもらえないので、箱田小学校や南小学校に預ける保護者もいると聞くがどうなのか。

**回答：**放課後児童クラブは3年生までが対象となっていますが、余裕がある場合には受け入れをしています。笠間小学校に統合になると笠間小学校の放課後児童クラブに行くこととなりますが、統合によって人数がさらに増えますので、施設の規模などについても検討していかなければならないと考えています。

**意見：**昨年の大震災の際は、小規模な佐城小学校でさえも相当数の児童を保護者に引き渡した。笠間小学校に統合になるとさらに人数が増えるので、子どもたちの安全を第一に考えた対策を進めてほしい。

**回答：**子どもたちの安全・安心は学校規模にかかわらず必要なことです。子どもたちは学校にいれば安全であって、保護者が迎えに来られるようになってから来てもらうというシステムを皆さんにご理解いただきたいと思います。

**意見：**答申では統合の時期を「できる限り早い時期に」としているが、実際に統合になるのはいつなのか。

**回答：**保護者や地域の皆さんの意見を聞きながら実施計画を策定していくこととなりますが、統合の目標として平成26年度を予定しています。ただ、その前段として、学校側の準備や子どもたちの交流、スクールバスの運行などについて詰めていく必要がありますので、1年程度伸びることも考えられます。

**意見：**自分の子どもが来年小学校に入学するが、平成26年度に統合となると、箱田小学校に入れるべきか、笠間小学校に入れるべきか考えている。

**回答：**小学校に入学して1年で統合になるなら、最初から笠間小学校に入れたいという気持ちも当然あると思います。ただ、環境が変わっても子どもたちはすぐに馴染んでいきますので、たとえ1年間であっても箱田小学校で充実した生活を送っていくことがとても大事だと思います。

**意見：**答申に「統合は保護者・地域の理解を前提とし」と書いてあるが、先ほどの「箱田小学校を残してほしい」という意見をどう受け止めるのか。

**回答：**意見としていただきますが、学区審議会の答申は議論を尽くしてきた上での最終意見でありますので、教育委員会としてはこの答申を最大限に尊重したいと考えています。

**意見：**この答申に対する保護者・地域の理解を得ながら進めるということか。

**回答：**今後も皆さんの納得がいくように話し合いを重ね、合意をいただけるように進めていきたいと考えています。

**意見：**第1段階における東小・佐城小・箱田小の笠間小への統合と、第2段階における南小・大原小・岩間二小の統合との違いは何か。

**回答：**検討委員会や学区審議会では、小規模校であっても学校側の努力でデメリットをメリットに近づけていこうという議論もありましたが、人数が少なすぎて先生の努力だけではどうしようもないという議論もありました。そうした中で適正配置の基準を小学校の新入児童数が20人を切る状態が続く場合と規定した経緯があります。第1段階の東小・佐城小・箱田小はすでに20人を切っているという現実があり、第2段階の学校は今後この基準を下回った場合に見直しを行うというところに違いがあります。

**意見：**スクールバスの運行方法として、ほかの市町村の事例を伺いたい。

**回答：**城里町はバス会社と委託契約をしてスクールバスを運行しています。常陸大宮市や大子町でも委託契約でバスを運行しています。笠間市ではバス通学の人数がまだはっきりしていませんが、たとえばデマンドタクシーを利用するとか、どこからバス通学にするとかという線引きについても今後皆さんと話し合っていきたいと思います。

**意見：**下校時間は学年によって違うが、学年によってバスを分けることになるのか。

**回答：**下校時間の違いによって2便に分けるなどの方法があると思いますが、現在、佐城小学校は低学年と高学年に分けて運行しています。計画で2便だったものが、スタート時には3便になるなどの可能性も含めて検討していくこととなります。

**意見：**制服やジャージは各校でそれぞれ採用しているが、統合になれば笠間小学校に統一されていく。その場合、統合間もないころは各校のジャージが混ざり合っていて、それが時間とともにまとまっていくということか。

**回答：**そうしたいと考えています。各校で使ってきたものをそのまま使い、ジャージが小さくなったところで笠間小学校のジャージに買い換えていくなど、統合と同時に新たに購入する必要がないようにしたいと考えています。

**意見：**学力は、少人数学習で行き届いた指導のほうが身に付くのではないかと思う。人数が多くなると授業がおろそかになり、学力の低下が心配される。

**回答：**子どもたちは、それぞれの学校でそれぞれの努力をしています。現在はこの学校でも少人数学習を取り入れており、2人の先生が授業を行うチームティーチングによって途中でつまずいた子に対しても手を打つことができる仕組みができています。また、笠間市の将来目標として、小学校で30人学級、中学校で35人学級による少人数学習をさらに進めていきます。

**意見：**統合という環境の変化に対する子どもたちのケアに配慮すべきである。

**回答：**事前に子どもたち同士の交流の機会を重ねるとともに、子どもたちのケアにも十分に配慮できるよう話し合っていきます。

**意見：**統合の準備や子どもたちの交流はいつ実施するのか。

**回答：**実施計画を策定し、統合の1年前からスタートしたいと考えています。統合を平成26年度とすると、平成25年度に実施していくこととなります。